

**製品名: テックウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02682**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 74 kDa; Observed MW: 58-75 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TEC
別名	Tyrosine-protein kinase Tec
遺伝子 ID	7006
SwissProt ID	P42680
免疫原	ヒト Tec の合成ペプチド

**背景**

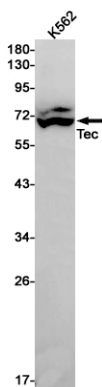
多くの受容体からのシグナル伝達に寄与し、アクチン細胞骨格の調節を含む複数の下流経路でシグナル伝達物質として関与する非受

容体チロシンキナーゼ。適応免疫応答の調節において、ITK と重複した役割を果たします。従来の T 細胞と非従来の NKT 細胞の発達、機能および分化を調節します。TCR 依存性 IL2 遺伝子誘導に必要です。CD28 特異的基質の 1 つである DOK1 をリン酸化して、CD28 シグナル伝達に寄与します。TCR 架橋によって誘導される IL2RA 発現を負に制御するシグナルを媒介します。B 細胞の発生と活性化のための BCR シグナル伝達において、特に BCR シグナル伝達タンパク質である STAP1 をリン酸化することにより、BTK と重複した役割を果たします。効率的なサイトカイン産生のために肥満細胞で必要です。顆粒球コロニー刺激因子 CSF3 (骨髄細胞の増殖、分化、機能的活性化を促進する重要なサイトカイン) による活性化を介して、骨髄細胞の増殖と分化の両方のメカニズムに関与しています。インテグリン活性化の下流の血小板シグナル伝達に関与しています。相互リン酸化を介して JAK2 と協力し、サイトカインによる FOS 転写の活性化を媒介します。FOS 活性化経路の負の修飾因子である GRB10 は、TEC のもう 1 つの基質です。TEC は、血小板における G タンパク質共役受容体およびインテグリンを介したシグナル伝達に関与しています。肝細胞の増殖と肝臓再生に役割を果たし、HGF 誘導性 ERK シグナル伝達経路に関与しています。TEC はまた、FGF2 'Tyr-215' のリン酸化を介して、さまざまな生理学的条件下で FGF2 の非従来型分泌 (小胞体 (ER) /ゴルジ体非依存性メカニズム) を制御します。破骨細胞の分化の調節にも関与している可能性がある。

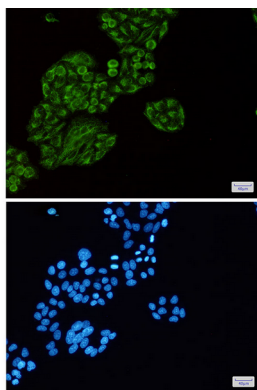
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



Tec 抗体を使用した K562 溶解物中の Tec のウエスタン ブロット分析。



Tec 抗体と DAPI (青) を用いた Hela 中の Tec (緑) の免疫細胞化学分析